

▼白石地区簡易水道化についての陳情

(決定) 採 択

(理由)

離脱表明した中谷地区の承諾を書面にて確認したく継続審査としていたが、本定例会までに地区全員による中谷川からの取水に関する同意書の提出があり、確認できたことから採択とした。

▼「森林・林業基本計画」の推進に係る意見書採択の要請

(決定) 採 択

▼地域林業・地域振興の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策の拡充に係る意見書採択の要請

(決定) 採 択

(理由)

両陳情の趣旨に賛同するとともに産業建設常任委員会としても同様の意見書を別途提案する予定である。

臨時議会

10月1日平成26年第5回

臨時会

9月24日に、臨時職員が酒気帯び運転の車に同乗したとして書類送検された不祥事を受け招集。

▼津野町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

平成26年10月1日から同年10月31日までの間に支給する町長・副町長・教育長の給与月額を10%減額するもの。

可決（全員一致）

傍聴記

政府は地方創生強化を明言しているが、地方自治体では多くの分野で問題を抱えており、議会や行政だけで解決できるものではない。町民が如何に問題ととらえ自主的に関わっていくかが鍵ではないかと考える。町の取り組みも政府とは温度差がありそうである。議会傍聴で全てを知る事は困難であるが、議会だより

も参考に町の動きを理解しておくことは、町民の役割として重要である。その議会傍聴者が少ないのが現実でもっと議員や行政側の生の声を聞いて欲しいものである。しかし、いたずらに足を運ぶよう呼び掛けても、思いはあっても参加できない理由も存在するのである。

第一に若者や農業従事者等は仕事の都合があり、高齢者は交通手段がない。また長時間は疲れる等その理由は多種多様である。その中で休日議会の日程が組まれ、多くの参加者があったのは記憶に新しく評価したい。

今、町が一体となつて動く方策を必要とするところであり、静かに流れている日常が著しく活性化し、その変化に戸惑う事も考えられる。その時、自分が変わらなければ何も変わらないと受け入れられるかどうかである。残念な事にまだまだ新しく町に入った人や、異なる意識を持つ者に対して阻害的な風潮が残っており、人口増の妨げにもなるのではないかと懸念される。難題であるからこそ議員や行政に関わる方々には、意識改革の索引役をお願いしたいものである。

相手を知る為にはその距離を近くしなければならず、個々の考えは理解できない。その前に、今何に楽しみを見いだし、何が困っているかもほとんど近隣者でさえも知らない状態になつている。一つには個人情報保護の壁ができてしまったのが大きく影響している。都会並に隣を知らないで生活しているのだ。気軽に焚火を囲み集つた昔は帰らないまでも、その距離を取り戻したいと願つて、津野町に関心を持つ努力をしている。

津野町力石
下元敏子

